ケーブルフェスタ2024開催

4-6日に名古屋の2会場で

4日は業界関係者向けイベント

業界の連携強化・資質向上を図る

日本ケーブルテレビ連盟東海支部主催の「ケーブルフェスタ2024」が10月4―6日に名古屋市で開催される。今年は『つながる魅力ひろがる楽しさ』をテーマに、地域密着通信・放送総合メディアとして業界の発展につながるイベントを目指す。4日には、ホテル名古屋ガーデンパレスを会場に業界関係者（BtoB）を対象とした展示会やセミナー、メディア見本市などを実施。5、6日にはオアシス21（銀河の広場）で一般向け（BtoC）イベントを展開する。いずれも入場無料。

第1会場（ホテル名古屋ガーデンパレス）では、交換会「ケーブルパーティー」、「番組コンテスト最新の機器・技術・ソリューションが集結する展示会、業界の連携強化・資質向上を目的とした「ケーブルセミナー」および「基調講演」、情報交換会「ケーブルパーティー」、「番組コンテスト表彰式」を開く。

各CATV局の自主制作番組やコミュニティチャンネル向け番組などが集まる「メディア見本市」では、番組制作会社および番組供給会社の販路拡大と情報交換の場となる。

基調講演は、『宇宙インターネット通信がもたらす地上経済へのインパクト』と題し、ワープスペース代表取締役CEOの東宏充氏が登壇する（17―18時）。

Starlinkをはじめとして、宇宙での光空間通信の実用が開始され、インターネットが宇宙へと拡張を始めている。このイノベーションが地上経済にどのようなソリューションをもたらし、どのような影響を与えるのか――。宇宙での光空間通信技術に取り組む日本のベンチャー企業の代表が展望を語る。

オアシス21・銀河の広場（第2会場）では、BtoCイベントが開かれる（写真は昨年の様子）

［第1会場］ホテル名古屋ガーデンパレス（名古屋市中区錦3―11―13）▽4日／展示会・セミナー＝10―17時（無料）、ケーブルパーティー＝18時30分―20時15分（参加費1万2100円）

［第2会場］オアシス21・銀河の広場）では、一般来場者を対象にCATVの魅力・利便性をアピールするステージイベントや専門チャンネルのブース展示、CATV通信・放送相談会などを実施し、加入促進・解約防止につなげる。

［第2会場］オアシス21（名古屋市東区東桜1―11―1）▽5、6日／10―17時

【詳細】cablefesta.jcta-tokai.jp/

ケーブルフェスタ2024 第1会場 出展社（ホテル名古屋ガーデンパレス）	展示会場／ホワイエ
展示会場／翼の間	アイテック阪急阪神
住友電気工業	サイネット
シンクレイヤ	サテライトコミュニケーションズネットワーク コミチャン
アレクシード	マスプロ電工
ミハル通信	東洋紡エンジニアリング
パナソニック コネクト	東亜ソフトウェア
古河電気工業	ウエストン／アイディオ
ネクストキャディックス	伊藤忠ケーブルシステム
ビデオトロン	みずほリース
中京エレクトロン	リミックス
ティーブイエスネクスト	ワントゥワン キコナス事業部
	日本デジタル配信
	AJCC

メディア見本市（桜の間）	
CCNet	ジャパンケーブルキャスト
シー・ティー・ワイ／ケーブルネット鈴鹿	ZTV
ひまわりネットワーク	ミクスネットワーク
スターキャット	知多メディアスネットワーク
キャッチネットワーク	CAC
プログラムバンク	シーシーエヌ

EO-70UD（左）とEO-70U

ケーブルフェスタ2024 特集

ビデオトロン

Vbusの新製品を展示

SDI・光を同一筐体で

ビデオトロンは、SDI・光を同一筐体でシステム構築可能なVbusの新製品を出展する。

「EO／OE―70U」は、12G／3G／HD―SDIを光に変換し、10―20キロメートルの伝送が可能。SDI入力断、光受光レベルなどの監視・アラーム出力ができる。

SDI4出力に拡張された「EO／OE―70UD」は、1台で光変換・SDI分配することで、コストダウンと省スペースに構築が可能。単体で使用可能なミニボックス型「EO／OE―20U」は、モジュールタイプとの接続ができ、使用場所に応じてモデルが選べる。

MicroBNCを採用した「HBシリーズ」は、高密度化したことによる省スペース、コストダウンを実現する。

マトリックススイッチャー「MTX―70―1616／168／88／44HB」は、Vbusモジュール2―1スロットで完結し、豊富な系統数でシステムに適したモデルが選択できる。

「DDA―70HB」は、1モジュールで4×4／2×8分配が可能で通常のBNCのモデル2台分が1台にまとまる。12G対応の「DDA―70UHB」もある。

SCN

線状降水帯を予測

気象情報配信サービス

サテライトコミュニケーションズネットワーク（SCN）は、自社で提供する各種サービスを訴求する。

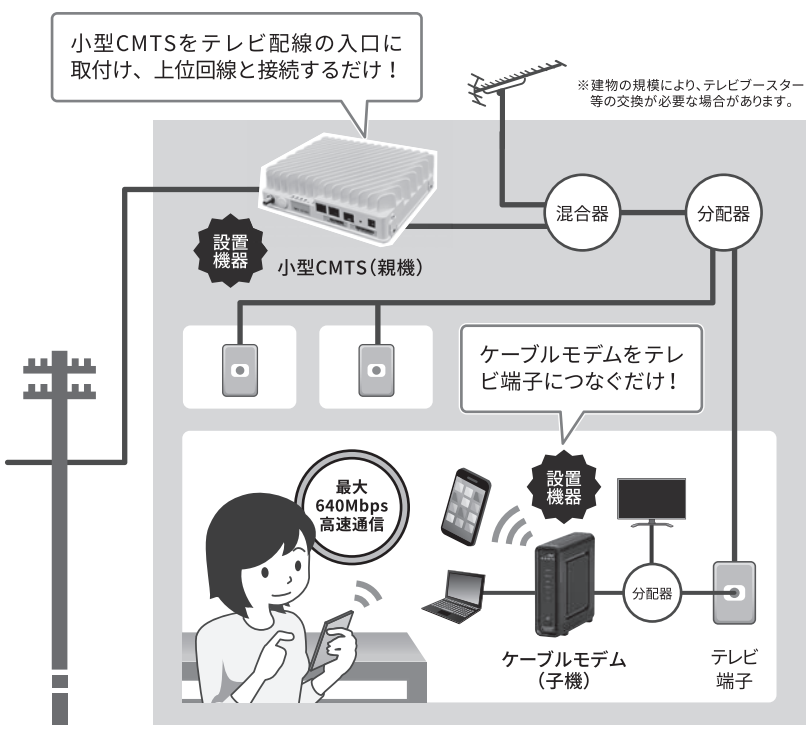
「線状降水帯予測情報配信サービス」は、気象庁から発表される「顕著な大雨に関する情報」を元に、降水強度と線状降水帯発生予測地域を示す地図画像や、テキストを整形して配信する。情報発表時点の解析データに加え、最大30分先までの発生予測情報を10分ごとに更新し提供する。提供画像は、放送局に合わせて、表示設定が可能。

「マルチ画面ソリューション」では、情報カメラを中心として、地域天気予報、道路情報、鉄道運行情報、地震情報、津波情報、避難情報など、多様なコンテンツをレイアウトして表示するマルチ画面ソリューションの最新導入事例を展示。地域の様子をライブで伝えることができるため、CATVの「2番目のコミch」や「防災チャンネル」などに利用用途が広がっている。

テレビ配線で高速インターネット

既設テレビ配線をそのまま利用して、古い建物でも簡単に
高速インターネット環境を構築できます

低コスト　大がかりな配線工事不要
短工期　通信機器の設置・設定のみ
高速通信　最大640Mbpsの安定した通信環境



シンクレイヤ株式会社　www.synclayer.co.jp

ミハル通信
超低遅延の映像音声伝送
高臨場感と没入感を実現

ミハル通信は、『次世代の映像と音声伝送技術で、地域に新たな価値を』をテーマに、極超低遅延音声・映像伝送装置「ＥＬＬ Ｌｉｔｅ」とＢＣＰ対策にも使用可能なソイベントにおいて、観客や視聴者にその場にいるかのような臨場感と没入感をリアルタイムで提供する。ＣＡＴＶでは、自主放送素材伝送などにも利用できる。

ELL Lite

デジタルチャンネルプロセッサー（MCP-A）

プロオーディオでも使用されているＤａｎｔｅ、ＭＡＤＩなどの音声専用インタフェースを持ち、最大64ｃｈの非圧縮伝送（ビットパーフェクト）が可能。映像伝送では、ＨＤＭＩ、ＳＤＩなどのインタフェースを持ち、極超低遅延での映像伝送を実現する。

「デジタルチャンネルプロセッサー」は、難視聴地域や受信障害が発生した場合の対策に最適な製品。ＵＨＦ帯域で放送される地上デジタル放送を受信し、指定周波数で送出できる。最大で11波の地上デジタル信号に対応でき、さらに納品後でも周波数の変更や追加が可能となる。また、持ち運び可能な小型筐体なので、災害時における地上デジタル放送の仮復旧支援にも適している。

ケーブルセミナーでは『最新の映像・音声伝送技術とＢＣＰ対策』として、極超低遅延音声・映像伝送技術「ＥＬＬ」とＢＣＰ対策にも使用可能なデジタルチャンネルプロセッサーを説明する。

シンクレイヤが新ソリューション
既設集合住宅を高速化
Ｗｉ―Ｆｉセンシング活用も

シンクレイヤは、既設集合住宅の高速化システムをはじめ、新たなソリューションとしてＡＲ（拡張現実）やＷｉ―Ｆｉセンシングを用いた活用事例を、今回のイベントテーマ『つながる魅力』ひろがる楽しさ』に沿って展示する。

『つながる魅力』としては、既設集合住宅において高速インターネットサービスの提供を実現する各種ソリューションをそろえる。小規模施設に適した屋内用小型ＣＭＴＳ（Cable Modem Termination System）「ＥＣ１ＯＯＯ」の展示に加え、地域の商品棟内に光回線を構築する屋内用小型ＯＬＴ（Optical Line Terminal）を参考出展する。

社会課題の孤独死に対し、「Ｗｉ―Ｆｉセンシング」を用いた高齢単身世帯の見守りサービスも提案。Ｗｉ―Ｆｉ電波を用いて人の動きを検知する技術により、プライバシーを侵害することなく複雑な操作も不要で、遠方から見守ることが可能。さらに『ひろがる楽しさ』として、地域の商品紹介にＡＲを活用したサービスを実演。伊勢神宮内宮前「おかげ横丁」にて実施中のＡＲを用いたスタンプラリーの事例を紹介し、ＣＡＴＶ事業者の強みである「地域密着性」を生かしたサービスを提案する。

ケーブルセミナーでは、『ケーブルテレビ業界における新規事業』と題し、ＡＲやＷｉ―Ｆｉセンシングの活用事例を報告する。

ケーブルフェスタ2024 特集

ケーブルセミナー
業界の最新動向を学ぶ
恒例の「しゃべくり」も

【会場：鼓の間】▽サイバーセキュリティの脅威（10時30分―11時30分）▽ケーブルテレビ局が「今」考えるべきウェブサイトの在り方（12―13時）▽ＤＸ時代に求めるコミュニケーションの在り方～時にアナログ感も必要では！（13時30分―14時30分）▽ＤＸ化で売上高10倍！～ＤＸ推進のメリットとは～（15―16時）

【会場：錦の間】▽テクノスポーツが叶える地域との接点づくりや社内交流のススメ方（10時45分―11時45分）▽ケーブルテレビ技術の最新動向とその先の展望（12時15分―13時15分）▽ＡＩコンテンツ制作最前線：創造性の新時代へ（13時45分―14時45分）▽災害時の地域メディアの情報発信について～能登半島地震のケースから～（15時15分―16時15分）

【会場：葵の間】▽カスタマーハラスメント対策セミナー（10―11時）▽新規申込数大幅アップを実現！ケーブルテレビ業界のためのＷｅｂマーケティング戦略（11時30分―12時30分）▽人を育てるコミュニケーション～声掛けで関係が変わる～（13―14時）▽テレビ ｖｓ Ｎｅｔｆｌｉｘ～コロナが変えた動画視聴の生活様式～（14時30分―15時30分）

【会場：栄の間】▽しゃべくり２０２４〈現場スタッフらが気軽に参加し、本音で語り合う少人数制の意見交換会〉（10時30分―12時30分）▽健康経営による持続可能な働き方と企業成長（13時30分―14時30分）▽フェムテックで会社が変わる ～企業が取り組む２つの課題とは～（15―16時）

【会場：竹の間】▽自宅テレビを活用したビデオ通話・情報通知／ウエストン、アイディオ（10時30分―11時）▽ＳＴＢ現場サポートサービスのご紹介／パナソニックコネクト（11時30分―12時）▽ＦＴＴＨインフラの活用と付加価値向上／古河電気工業（12時30分―13時）▽最新の映像・音声伝送技術とＢＣＰ対策／ミハル通信（13時30分―14時）▽ケーブルテレビ業界における新規事業／シンクレイヤ（14時30分―15時）▽有線と無線の融合によるスマートシティ化構想／伊藤忠ケーブルシステム（15時30分―16時30分）▽住友電工によるコミチャン拡充のご提案（16時30分―17時）

※「ケーブルセミナー」の事前申し込み受付は終了しています（９月30日時点）。